



第1回 中域ディスクドッチ大会 2012

# 報告書

平成 24 年 7 月 12 日



## 【大会概要】

名称	「テトラパックわくわくチャレンジカップ」 中域ディスクドッジ大会 2012
日程	平成 24 年 7 月 1 日 日曜日
時間	9 : 4 5 ~ 1 6 : 3 0
会場	共立女子第二中学・高等学校 体育館 八王子市元八王子町 1-710 (共立女子大学・短期大学 八王子キャンパス) TEL : 042-661-9952
天候	曇りのち、雨
主催	日本ドッジビー協会
共催	学校法人 共立女子学園
後援	八王子市教育委員会
協力	八王子市子供会育成団体連絡協議会
特別協賛	日本テトラパック株式会社
協賛	株式会社ヒーロー

## 【参加チーム】全 8 チーム (Mix チーム × 1 含む) 選手合計 114 名

地域	属性	チーム名称	人数
①台湾	小学校	佳義国民小学校	16
②武蔵野市	地域クラブチーム	武蔵野市ドッジビークラブ	20
③調布市	地域チーム	柏野ヴィクトリーオークス	14
④八王子市	市三田子供会	東浅川小学校	15
⑤八王子市	市由井第一子供会	由井第一サブリーダーズ	14
⑥福生市	サッカーチーム	GONA FIVE	11
⑦福生市	サッカーチーム	GONA SEVEN	10
⑧武蔵野市	地域クラブチーム	Mix 武蔵野市ドッジビークラブ	14

## 【競技方法】

### ①小学生部門

予選 ①～⑧ 8チームの総当たりリーグ戦

決勝 予選順位によるトーナメント戦により最終順位決定

## 【全体タイムスケジュール】

9 : 45 ~ 10 : 05

開会式・諸注意事項説明

10 : 15 ~ 12 : 15

AM試合 (10 : 15 第1試合スローオフ)

12 : 15 ~ 13 : 00

昼食・休憩

13 : 00 ~ 16 : 00

PM試合 (15 : 45 最終試合スローオフ)

16 : 10 ~

表彰式・閉会式

全選手および帯同者1チーム2名は整列してください。

## 【最終成績】

### ●入賞チーム

優勝

佳義国民小学校 (台湾)

準優勝

武蔵野市ドッジビークラブ (武蔵野市)

3位

柏野ヴィクトリーオークス (調布市)

### ●3位決定戦により

4位

東浅川小学校 (八王子市)

### ●予選順位により

5位

GONA FIVE (福生市)

6位

GONA SEVEN (福生市)

7位

由井第一サブリーダーズ (八王子市)

8位

Mix 武蔵野市ドッジビークラブ (武蔵野市)

## 【講評】

朝からはっきりしない曇天で、予報では午後より雨。と天候には恵まれなかったが、自然に囲まれ、勉学には持ってこいの環境と言える学校法人 共立女子学園、共立第二中学・高等学校キャンパスで「わくわくチャレンジカップ」第1回中域ディスクドッジ大会2012がおこなわれました。



本大会は日本テトラパック株式会社の社会貢献プロジェクト事業の名称である「わくわくチャレンジ」を大会名の冠に配しておこなうシリーズ大会であり、栄えある第1回目となります。

共催者である共立女子学園の配慮から、朝、8:50と9:10にJR中央線八王子および高尾駅から、スクールバスによる送迎が実施され9:00過ぎには続々と参加者がキャンパスに到着。



協賛会社であるドッジビーメーカーの株式会社ヒーローの企業キャラクター、Airmanが体育館前に設置され、立派な体育館とともにイベントならではの光景に参加者もビックリの様子。

広大なキャンパスをほぼ、貸し切りのような状態で1日楽しめるとあって、付帯イベントコーナーのディスクゴルフやディスクゲッター9に子供たちは早速、挑戦。





今大会には、開催発表後、早々に台湾チャンピオンチームが参加を表明。  
黒と黄色の揃いのユニフォームに身を包み、登場する姿は小学生ながら貫録すら感じさせられました。

9：50、少々予定から遅れて開会式が開始。

冒頭、主催側を代表して共立第二中学・高等学校長より挨拶。

次に、本大会の特別協賛をいただいた日本テトラパック株式会社からの挨拶。

その後、諸注意事項を説明したのち、台湾チーム選手による民族舞踊が披露され、会場は手拍子で包まれるなど大変な盛り上がりとなり感謝！！



10：15より、いよいよ試合開始。

試合形式はまず全8チームによる総当りリーグ戦をおこない、勝ち点制で順位を付けてその順位で午後の決勝トーナメントの対戦枠を決定、最終順位を決する。というものです。

運営面においてご報告すべきこととしては全8チームの内、1チームはM i x部門にエントリーをいただいた武蔵野市ドッチビークラブチームであり、順位決定には反映しない交流試合となったことです。

M i x部門へのエントリーは結局、1チームのみとなったため、部門不成立との判断となり、大人が参加することもあるような措置となった次第ですが、主催者として大いなる反省点であり、今後の大きな課題として認識しています。



良かった点として今大会の審判は武蔵野市／新宿区／千代田区／荒川区より集まっていたいただいたDBJAの審判員資格を取得した10名、さらに地元八王子市のスポーツ推進委員5名および数名のDBJAメンバーにより全試合の主審・副審・線審をまかなうことができました。

当たり前といえば、確かにその通りですが、DBJAにとっては初の主催大会で自前の資格取得者によって全試合の主／副審判を構成できたことに大きな喜びを感じることができました。



試合内容については、とにも、かくにも、台湾チームの各個人、鍛錬された強力なスピードスローに加え、正確な内外野のパス、さらには迫力すら感じるディフェンス・フォーメーションなどなど、すべてにおいて、時限の違いと言っても過言ではない圧倒的強さに誰もが驚嘆していたことに尽きると言えます。



このプレイを実際に対戦するという形で経験したこと、真近で見ることができたことは他チームの参加者にとって大きな財産であると感じます。

そのような意味で第1回大会に台湾チームが参加して下さったことに、あらためて感謝の念を禁じ得ない心境です。



本大会はシリーズ開催であることから、今後も反省点は改善し、良かった点はさらに伸ばすことを常に念頭に置いて、回を重ねることにより良い大会とすべく努力する所存です。



関係各位には今後ともご協力を賜りたくお願いいたしますとともに、関係者の皆さまも楽しめる大会を目指しますことを、ここに表明いたしますのでご期待いただきたいと存じます。

